

第1回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

資料1

■後期基本計画（素案）

章	節	意見・内容	対応等
1	全体	<p>・資料3、施策の進捗状況の経年変化について施策のめざす姿に近づいているものは8割弱である。また、資料3-2に関しては「施策のめざす姿にやや近づいている」としているものは10項目のうち7項目に対して、「施策のめざす姿に近づいている」としているものは3項目であり、外部評価と内部評価の結果が逆になっているように感じる。実際にはどうなのか。</p> <p>・10項目しか評価できていないので、他は問題なければよいが、後期基本計画に盛り込まれる事になるため、きっちりとしていないと、この素案をベースに議論するのはいかがか。</p>	<p>・外部評価においては、42施策のすべてを外部評価委員会に諮問しています。しかし、時間の関係上、全ての施策を評価することが困難であることから、行政内部の評価を踏まえ、とくに委員が確認したい施策を中心に選定いただいている。また、外部評価においては、今後の施策展開を期待して、全体的に厳しめの評価を受けています。</p>
2	全体	<p>・現在の指標では施策のめざす姿に関してめざす姿が追いついていないものとする。違った観点で施策のめざす姿を追いつけることのできる指標を見つけていく必要がある。</p> <p>・施策のめざす姿と指標があていないため、見直しをお願いしたい。代替の指標の提案もお願いしたい。</p> <p>・アウトプット指標、アウトカム指標とあるが、施策のめざす姿を追いつけられる指標となっているのかなどを確認いただきたい。</p>	<p>・指標を設定しにくいものもある。前期計画においても、めざす姿と指標の整合性については、必ずしも一致していない状況である。今後、各委員の意見等を踏まえて見直しを検討してまいります。</p>
3	全体	<p>・前期計画よりも項目や目標設定をしており、課題のあぶり出しとしては良いのだが、重複を避けた縦割りに感じる。効率的な行政運営のためには、一つの施策をすれば、幾つもの課題を解決できるのは理想であるが、前回の総合計画の中では施策連携の視点といった項目があり、めざすべき姿というのを、一つ一つの施策からだけではなく、連携した将来像を考えているため、良いなと感じた。</p> <p>・子育て、ふるさと、賑わい、出会い、生きがいなどは基本的なことだと思うが、もう少しブレイクダウンし、それぞれのめざすべき所について、関連する施策を意識できるものになるとより良いと感じる。観光や街づくりの視点からも足りないものが見えてくるものもあるので、施策連携の視点のブラッシュアップも必要と感じる。</p>	<p>・後期基本計画においても、施策連携の項目設定を検討してまいります。</p>
4	全体	<p>・総合戦略と総合計画後期基本計画の関係性を整理し、次回に示していただくとわかりやすい。</p>	<p>別紙 資料2のとおり</p>

章	節	意見・内容	対応等
5	全体	・資料3-1の施策の進捗状況の経年変化のグラフと、資料3-2の外部評価の評価結果とでは達成率について大きな差がある。市役所内部に内部評価と外部評価の結果を示し、達成率の差について理解してもらっても良いのでは。	毎年度、行政評価報告書を策定しており、内部評価をはじめ、外部評価及び総合評価の結果を掲載しています。
6	全体	・資料4-1アンケート報告書の自由記述について、市民の方が問題視している項目で同じ内容の記述のものが多かった。アンケートに記述される方にとっては強い思いをもっているものと感じるので、後期基本計画ではそのような事が対応できているのか洗い出した方が良いのでは。	別紙 資料3のとおり
7	全体	・資料4-1では自由記述意見に対して、該当する政策分野を示しており、自由記述からはまちづくりに関する課題を読み込める部分もあったが、基本計画の素案ではそれらに触れていないように感じる。1,000人以上のアンケート結果があるなかで、複数の回答があった項目などに対しては、基本計画の何番がその自由記述に対応しているのかなどの対応表があればよい。自由記述を集約し、それに対してどのめざす姿がマッチしているのかを示していただきたい。	
8	全体	・市として捉えている課題や出来ていない部分を今後実施していくことは重要であるが、地方創生の考え方として、地域の強みや資源がどこにあるのかなどを掘り下げて考え、そこをどのように伸ばしていくかといったことも大事。アンケート結果に住みやすいといったことや、定住傾向が強いといったポジティブ意見がでているので、それがどのような部分で感じているのか、自由記述から拾い上げ、伸ばすべき部分など、阪南市の個性を伸ばすといった方策も必要であると考え。	昨年度、総合戦略策定時に本市の強みと弱みを分析しています。今後、総合戦略との整合を十分に図ってまいります。
9	全体	・全体を通して課題を書き直しているのは良いが、めざす姿で受けるのか、市役所の役割や、市民の役割で受けるのか、課題に対して何をするのが記載しきれていない。特に、書き改めた課題、書き足した課題に対して、本当に受け止められているのか再度チェックしていただきたい。	・各施策の検討の中で、各委員のご意見等も踏まえて、再度チェックしてまいります。
10	全体	前期基本計画のなかで指標の設定をしたものについては、全てについて現状がどのように変化しているのかわかるような一覧を示していただきたい。	別紙 資料5のとおり

章	節	意見・内容	対応等
11	1 ・ 2 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働社会の形成の中で、施策のめざす姿を記載しているが、現在進めている総合子ども館の計画では市民の不安が募ってきている。今後、市としてどのように対処するのか、次回の会議において市の姿勢について取り上げていただきたい。</li> <li>・事務局としてどのように認識し、どのように進めていくのかといった観点で願います。</li> </ul>	それぞれの施策においてご議論ください。
12	2 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・31頁、健康づくりの推進について、健幸マイスターや食生活改善推進委員の記載のほか、健幸ポイントプロジェクトに携わっているスポーツ推進委員に関する記述も追記していただきたい。</li> <li>・スポーツも健康づくりの一環であることから、スポーツと保健を連動させた記載をしていただきたい。</li> </ul>	・31頁、健康づくりの推進については、健康づくりに視点をおいています。スポーツと保健を連動させた記載については、今後策定する施策連携の視点で対応してまいります。
13	2 6	・39頁の要介護認定率は前期計画では現状・目標とも17.3%であったが、後期計画では現状18.6%、目標24.8%となっており、数値の悪化や指標の抜けているものが多々見受けられる。前回の目標設定から5年が経過し、どの程度達成しているのか不明である。	別紙 資料5のとおり
14	3 8	・61頁では施策のめざす姿が3つあるが、指標が1つであるため、めざす姿を追いかけていないのではないかと。	・指標を設定しにくいものもあり、前期計画においても、めざす姿と指標の整合性については、必ずしも一致していない状況です。今後、各委員の意見等を踏まえて見直しを検討してまいります。
15	4 ・ 5 1	・71頁の歴史・文化の保存と継承についても、もっと観光に活用できると考えている。観光といった観点から、既に有する資源をどのように活用していくのか、ホテルや交通機関といった観光の基盤整備をターゲットとし、全ての項目をチェックすると、もっと充実させることが出来ることも可能であるとする。	・観光の振興との施策連携については、施策連携の項目で検討してまいります。
16	4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・73頁の国際化の推進について、多言語化が国際化につながるのか疑問。人口減少にあたり、市の賑わいや産業が衰退してくるなかで、交流人口の拡大を図り、賑わいを取り戻すことが必要であると理解している。</li> <li>・具体的にインバウンドや、他市からの人口をどのように取り入れるのかが見えない。</li> <li>・他市でも実施している姉妹都市構想などもっているのかが、大きなファクターとなってくるものとする。</li> </ul>	・左記のご意見も踏まえ、4章「国際化の推進」の検討において、ご意見等いただけたらと思います。

章	節	意見・内容	対応等
17	4 5	・国際化の推進の中でインバウンド施策や、観光の話などあったが、次回の会議までに観光協会と意見交換などしてみようか。	・5章「観光の振興」を検討する際の各委員のご意見等も踏まえ、検討してまいります。
18	5 1	・83頁の観光の振興について、どのようなビジョンなのか、具体的にどの程度の人数を何人呼び込むのか、どのようなカウントにするのかといったKPIが必要だと感じる。	・現在、観光振興ビジョンの策定を進めており、その中で具体的な検討が行われるものと考えます。
19	5 1	・本市にはホテルなどがいないので、将来的なビジョンの中で、そのような施設の誘致や、自然環境を活かしたグランピングを実施していくなど、ビジョンとして練っていくことが必要だと考える。	・観光の振興との施策連携については、施策連携の項目で検討してまいります。
20	6 3	・99頁の魅力的な街並みづくりについて、観光協会の認識では、観光客にその街を楽しんでいただくだけではなく、さらに食事や宿泊をしていただいて、一定のお金を落としてもらわないと意味がないと理解している。	
21	6 5	・103頁の安全で快適な交通環境づくりについて、観光客が尾崎駅に来たとしても、その後の観光する手段がないことから、2次交通としてどのような動線で観光するのか、サイクリングなどといった発想など、お客様に来てもらえるような着地整備なども全体的な構想の中で必要だと考える。	
22	7 3	・今後、少子高齢化や人口減少といった施策を展開できるのか、具体的なコスト削減や、予算配分などのメリハリなどを記載していただければと感じた。 ・115頁の持続可能な財政運営が今の指摘にあたる。そこにもう少し具体的な内容や、イメージできるものを記載すれば、よりわかりやすくなる。	・左記のご意見も踏まえ、7章「持続可能な財政運営」の検討において、ご意見等いただけたらと思います。